

## 令和3年度 上越市立有田小学校 第2回学校運営協議会 議事録

令和3年5月22日(土) 15:10~16:20 於:有田小学校会議室

<次第> 進行:教頭

1 開会のあいさつ(会長) 略

2 学校長あいさつ(校長) 略

3 協議

① 本年度の教育活動について 校長

教育目標が「理想は高く」から「理想を高く」に変更されたことを含めて、グランドデザインについて説明が為された。

(A氏)「は」が「を」になることの意図は?目線を変えたということか?

(教頭) そのとらえてあっている。子どもたちの自発性を重視した文言とした。

② 令和2年度学校運営協議会の振り返りについて 教頭

資料に基づき、有田小学校記載分について説明が為された。

③ 夢・志チャレンジスクール事業について 教頭

資料に基づき、有田小学校記載分について説明が為された。

(A氏) 評価方法が適切でないように感じる。評価項目が夢チャレに正対していないのではないか?学校運営の一項目であるならよいのだが、夢チャレだけとなると…。学校教育全体に関する評価を当てはめるのは違うのではないか?

(教頭) 示されている資質・能力について、事前と事後を評価した方が適切であるということか?

(A氏) 夢チャレの効果を評価する…ということならば適切だ。

(B氏) 示されている資質・能力は素晴らしく、これらが育っているかを評価することは良いこと。ただ、直東学園で共通した評価項目というものもあったのではないか?資質能力の一つ一つを丁寧に見取り、その結果、共通項目にも答えられるのであれば良いのだが…。

(教頭) 共通項目はあるが、有田小オリジナルの部分もある。ただし、あまりに項目を多くすると保護者の負担が増えるため、できるだけシンプルなものにしている。ここまでの意見から、学校評価と夢チャレに関する評価を、ある程度分けた方が良さそうだと感じる。今後、検討し工夫していきたい。

4 意見交換「有田の子どもと共に歩む」

(教頭) コロナ禍ではあるが、学校行事については規模を縮小してでも、参観者数を削ってでもやめないという方向で進めているが、率直なご意見をいただきたい。

(C氏) 行事のあり方についてはPTAとして随分言わせていただいているので、若干申し訳ない思いもある。しかし、総務部にも医療関係者が複数名おり、指摘もあった。医療関係者がいるからできる対策もあり、何もできないでなく、コロナ禍においてもどうにか子どもたちのためにやっていく…という方向でやれていると思う。そして、ここまでは順調で、対応が後手にならないよう、先手でやれていると思う。保護者の中にはここまでやる必要があるかという意見もあったが、子どもにルールを守れと言っている大人が守らないのはどうだろうかと伝えた。大人もルールを守るのだという姿勢を示す機会にもなればと思う。

(B氏) 統合されて子どもたちにとってはここが母校となるから構わないのだが、家族にとっては戸惑いが大きかったように思えた。それ以上に先生方の戸惑いは大きかったのではないかと感じていた。だが、最近は落ち着かれて保護者の皆さんの表情も明るくなった。また、先生方は変わっていくので気付かないと思うが、初めから見ていた者にとっては学校がとても明るく、子どもたちの笑顔も真っ直ぐに見られるようになってきたと感じ、嬉しく思っている。

(A氏) 運動会の様子を見たが、先生方は先生方の範囲をしっかりと、そしてPTAは今までよりも1歩前に出た活動の姿が見られた。コロナ禍であるが故、仲間であるPTAが前に出てきた…それが良かったと思う。通常ならば先生が仕切りPTAが補助となるところだが、そうではなくPTAが出てきたことにより他の保護者も納得して協力できたところがあるのではないだろうか。

(D氏) その通りだと思う。私は小猿屋小学校の運動会、地域を挙げて子どもたちと一緒にやる運動会のイメージが強いのだが、今回は流れが違って…。テントの後片付けを手伝おうかと思ったら、来年のこともあるのでここはPTAにらせてくださいとも。先生方とPTAの動きがはっきりと分かれていて、素晴らしいと思った。

(教頭) 言い方は良くないが「学校の下働き」というPTAもある中、有田小PTAは学校と対等な立場として意見を述べ、実際に動いてくださっている。PTAとは本来このようにあるべきだと思うし、学校を動かすもう一つの柱であると実感している。支えてくださっているのはPTAだけでなく地域も同じで、大雪の際には市が動かないのであれば町内会自らが動く準備されていた。感謝するばかりである。

(B氏) 先生方も素晴らしいです。今朝は朝早くから水取りをされていました。あれは先生方ですね。ぜひ、PTAの皆さんにも伝えてあげてください (PTA会長に)。

(C氏) 地域の皆様にはいろいろなところで支えていただいている。不審者事案だったり、子どもの失踪だったりでもすぐに動いていただいた。最近は、保護者と学校との距離感が問題となっているが、そこを埋めたいし、地域の皆さんがいてくれるから子どもたちも安心して生活ができているのだとPTAでも伝えていきたい。現況としては、保護者・地域・学校の三角の取り組みがベストに近くなっているのかなと感じているので、しっかりと引き継いでいきたい。

(B氏) 私は地域コーディネーターという役職をいただいているが、保護者・地域・学校という今の話を聞いてとても嬉しく思う。コーディネーターとしても、さらにお手伝いをしたい、楽しみだとの思いだ。PTAはお子さんとの関係もあり、忙しいことと思う。ぜひ、地域を使っていただきたい。

(E氏) 下門前の子ども会も熱心な方が会長で、町内会との距離も近い。通勤族の方なのだが、それが逆に良いのかもしれない。縛られないというか…。固定観念がなく、我々としても目からウロコという話もあった。そういった視点は有難いことだ。

行事についても、子どもにとっては今年しかないので、まずはできるように努力することが大切だ。

あと、ICTに関連してiPadの話があった。現状、子どもたちはWi-Fiでゲームなどをしていると思われる状況だが、それらを把握したデータはあるか？

(教頭) 1件1件の使用状況については、子どもが記入したものを信じるならば把握できる。家庭の通信環境については調査中で、今後、詳細が分かる可能性もある。個人的な感覚でしかないが、子どもたちの現状としては、個人による差が大きいということと、コンピュータを使っているのではなく、ゲームなどでコンピュータに使われている…というべき状態だと考える。

(E氏) 前回も述べたようにICT教育が重要になってくると思われる。そして、個人差が大きいことも予想され、丁寧に見ていくことが必要だろう。

(校長) 世界では子どもの教育のためにコンピュータが使用され、日本ではゲームのためにコンピュータが使用されていると揶揄される状況である。世界の中では最も教育のICT化が遅れているのが日本と言われたのが、コロナ禍で一気に整備が進んだ。ご指摘のとおりICT教育は重要であると同時に有田小だけでなく日本全体の課題だととらえている。また、放課後の子どもたちの現状としてよく言われるのが、子どもたちはゲームに子守をされているということ。さらには、下校しても子どもたちがオンラインでつながっているというのはいろいろな学校から上がってくる事実であり、有田小も同様だと思われる。だからこそ、私たち大人がしっかりと指導していかねばならないと認識している。学校、家庭、地域の役割があると思われるので、しっかり連携していきたい。

(B氏) 子どものゲーム…ということなのですが、親もゲームにどっぷり浸かっているということがあり、学校では言えないということもあるのではないだろうか？

(校長) 学校から「〇〇するな」という指示ではなく、PTAでの講演会などで保護者の皆さんに、未来のために今必要なことに気付いてほしいと考えている。家庭でのルール作りなど、専門家の話の方が我々よりも相応しいこともあると思われる。いずれにしても、一手を講じれば解決することではないと捉えている。

(C氏) 保護者でも意識している人と、そうではない人がいるのが実態なので、周知していくことが必要だと思う。親が知っていて当然だと思うことが分かっていない、危機感がない…ことが一番の問題だ。

(B氏) 引きこもりの子がネットをきっかけに社会復帰をした…などという良い話もあるのだが、それはほんの一握りだということも…。

(A氏) 難しいことかもしれないのだが、講演会の持ち方なども工夫すべきだ。子どもと保護者が一緒に聞いて対策を考えるなど…。保護者だけ、子どもだけが聞いても効果が少ない。同じ話を保護者も子どもも聞いていれば、家庭でも一緒に考えることができる。

(校長) 同様の取組を行っている学校はある。よい事例については取り入れていきたい。コロナ禍による制約もあるが、やり方を工夫して実施していきたい。

(A氏) この課題は本腰を入れなければいけないね。未来への危機感をもたないといけない課題だ。至るところで何度も話題になり、どこもが困っていて、どこも何かをやっているが成果が出てこない…で終るのが勿体ない先進校の取組を取り入れるということであれば、ぜひ実を上げていただきたい。

(F氏) 4月から見ているが、1年生もあいさつができるようになってくるなど、ゆとりをもって通学ができてきているようだ。よかったと思う。

(教頭) 下校時には自転車で巡回するなどしているが、最近、少しは安心して見ていられるかなと思う。ただ、油断したときが危ないときなので、子どもたちへの注意喚起は常にしていきたい。

(G氏) 有田地区レクリエーション協会からの情報をひとつ。例年、リージョンプラザで行っているが、現在検討中だとのこと。町内会での検討では参加が難しいとの話もある。あいさつについては、高学年になると恥ずかしさも出てくるようだ。

## 5 閉会のあいさつ (副会長) 略

(本議事録は発言録ではなく、記録者が要旨をまとめたものです)